

事業実施報告書

法人名	特定非営利活動法人霜里学校
活動名	インバウンド向け 小川町魅力体験ツアーの開発と基盤整備
助成事業の種類	自立促進
	豊かさ分野
事業の目的	
インバウンド対応(産業)の基盤強化を目的に活動した。今回は「小京都おがわ」をテーマにバスツアーを、「オーガニック」をテーマに自転車ツアー事業を展開した。	
事業で取り組んだ地域や社会の課題	
(H22年)、有機農業での耕作面積が約20%を占めるなど有機農業の先進地として注目を集めてきた。また、比企丘陵での谷津沼農業システムは日本農業遺産に登録(R5年)され、両地域共に視察や研修に訪れる方も少なくない。これらの資源循環型の農業や暮らしは欧米系のオーガニックに親しむ層が関心を寄せるコンテンツである。さらに小川町は和紙、日本酒などの伝統文化が息づく歴史ある町「小京都」である。これらのコンテンツと都内からのアクセスの良さから日本らしい風景や暮らしに触れたいインバウンド観光客からのニーズが生まれている。町観光案内所に大手観光会社からの問い合わせも出始めているが対応する基盤が整っておらず、機会損失の状態でありインバウンド産業の確立は急務である。	
取り組んだ事業の具体的な内容・実施結果	
1)有機農業に触れ、風土を体感できるエコロジカルな自転車ツアーのトライアルと検証。実施の過程で専門家によるアドバイスをいただき、人材育成とコース開発、ガイドマップ等の資料制作を行なった。2025年2月5日実施 4名参加／定員5名	
2)企業と協働で開発する小京都バスツアーのトライアルと検証。2024年11月16日実施 12名参加／定員20名	
3)PR媒体の制作 助成事業の成果をもとに継続発展するためのとしてバスツアー実施時の映像をもとにPRツールを制作した。	
いずれのツアーも観光地としての認知度の低さから集客に苦戦した。また、計画していたイーグルトラベル／バスからの集客に関する協力が得られなかったことが大きく響き、バスツアーは招待枠を設け外国籍の方に参加していただいた。また、自転車ツアーも価格を下げて募集をした。そのため、自己資金投入を要した。 https://drive.google.com/file/d/15qw08J1Hw-JYgvRU-W1oJPyiWOQWTwFI/view?usp=sharing	
事業実施により達成した成果の具体的な内容	
外国の方にとって観光地化していない小川町のようなエリアに期待することは次のことであることを事業を通じて理解できたことが成果である。	
交流:日本の文化に触れることはもちろん、そこに集った者同士の交流を求めている。日本人(日本で生まれ育ったという意味)は歴史や地域の特産、その地ならではの情報を深く知りたい傾向にある。それに対して、外国からのお客様は観光スポットの方(運営者、受け入れ側)との交流を希望する意見が多くみられた。特に「食」文化への関心はどなたにもあり、提供する料理はお国柄、宗教、禁忌があるが、自分たちの食べている日常の食べ物、特別な食べ物というキーワードで自然と交流が生まれた。	
体験:いわゆる観光地化をしていない小川町は「ここを歩けば大抵の旅行者は満足できる」といった通りや施設はない。今回実施した自転車ツアーは自転車で移動すること自体がアクティビティである。また、オーガニックタウンをエコロジ的な移動手段で巡るという点でも親和性があり好評だった。	

費用面での工夫
自己資金投入が必要となったため、当日の配布資料などは組織内の機器を活用し、部数も無駄が出ないように配慮した。また、バスツアーで先回りをする車も自家用車を使いレンタカーなどの余計なコストがかからないようにした。
また、打ち合わせもオンライン等を活用し、コストの低減を図った。
地域社会への還元
地域の組織との連携、協働が実現したとともに、今後のインバウンド事業をどう展開するか、共に検討するきっかけとなった。
今回協働した組織：霜里農場、小川町観光協会、小川町地域おこし協力隊、小川町和紙体験学習センター、松岡醸造株式会社、株式会社雫、一粒合同会社、久保製紙
ツアーでお世話になった松岡醸造は自社の見学等のツアーがすでに旅行会社により、国内外観光客向けの商品となっており年間2万人が訪れている。松岡醸造から町内の他の店や施設への送客という連携ができれば町へ経済効果や多面的な魅力発信につながる。今回のバスツアーはプロトタイプ構築を実現した。今後も松岡醸造さんとコミュニケーションを取り、町内での観光客の経済および交流の循環の輪を創造していきたい。
今後どのように事業を継続し発展させるか
自転車ツアー：観光案内所で日常的にオーガニックタウンを実感できる下里地区を中心とした自転車での観光コースを案内することで継続発展させる。ガイドや通訳が同行する案内は常駐スタッフを置くほどの需要がまだ作り出せていないため、イベント的に試みる。
バスツアー：今回の企画時はイーグルバス経由のエアジャパンとの連携は実現しなかったが、機内で流すPR動画制作で別途、連携を図ることができた。小川町観光協会を通じて今後もエアジャパン、イーグルバス／トラベルとの連携を発展させ、好評だったレトロなボンネットバスでの小川町周遊ツアーの定期実施を目指したい。 https://fb.watch/y0uSzMZ6MM/

事業収支計算書

法人名 特定非営利活動法人霜里学校

1 収入の部

(単位:円)

項目	予算額 A	決算額 B	増減額 C=B-A	備考
助成金	500,000	500,000	0	
自己資金	0	195,800	197,600	バスツアーおよび自転車ツアーの参加費収入不足分
活動実施による収入等	230,000	34,200	△ 195,800	
その他	0	0	0	
収入の部 合計	730,000	730,000	0	

2 支出の部

(単位:円)

項目	予算額 A	決算額 B	増減額 C=B-A	備考
会場費	0	0	0	
通信運搬費	0	0	0	
旅費交通費	0	0	0	
消耗品費	0	0	0	
備品費	0	0	0	
委託費	640,000	640,000	0	
謝金	90,000	90,000	0	
人件費	0	0	0	
その他	0	0	0	
支出の部 合計	730,000	730,000	0	